



### 4/1 新しい風!45人の新職員辞令交付式

新職員辞令交付式が庁舎内9階講堂にて行われ、先輩職員たちが見守る中、総勢45人の新規採用職員が松本市長を含む各任命権者から辞令交付を受けました。

新職員を代表して高良 奎徹さんは「市職員としての第一歩を踏み出すにあたり、その責任の重さと使命の大きさに、身の引き締まる思いであります。市民の皆さまの安心と暮らしを支える一員となることを自覚し、常に公務員としての責任と誠実さを胸に、職務に励んでまいります」と力強く宣誓しました。

2週間の研修を経て配属先での職務がスタートします。窓口などで見かけた際は、ぜひ温かいお声をかけをお願いします!



### 【消防団】令和8年春の火災予防運動を実施

3月1日(日)~7日(土)までの1週間、「急ぐ日も止め火を止め 準備よし」のスローガンのもと、市民の防火・防災意識の向上、火災発生時の被害を抑えることを目的として、春の全国火災予防運動が実施されました。

期間中、浦添市消防団は屋内外問わず火の取り扱いには十分に注意してほしいと呼びかけを行うとともに、火災時に消火栓がすぐに使用できるよう点検を行いました。

また、浦添市消防団では消防団員を募集しています。「私たちと一緒にまちを守るヒーローになりませんか?」



### 3/21 「まちプラ助成団体」事業成果を報告

市民が夢を描くまちづくりを支援する「まちづくりプラン助成金」の交付を受けた(一社)琉球スポーツサポート、依存症リカバリーサークル、和氣剣道会スポーツ少年団、西原大綱引きの会、屋富区再発見実行委員会の5団体による事業成果報告が、ハーモニーセンターで行われました。今回も多彩な発表があり、松本市長は「事業の主旨に賛同し、ご協力いただいた方々へ心から感謝を申し上げます」と話がありました。また、参加者からは「浦添市内での活躍ぶりが伺えてすばらしい活動です」「浦添市のまちづくりに協力する団体や個人が増えることを期待しています」「とても前向きになれる報告でした」との声が寄せられ、アットホームな雰囲気での報告会となりました。



### 3/24 企業との災害時協定を結びました

市は、株式会社アイ・ティ・エス様、沖東交通事業協同組合様と、災害時における福祉車両の提供や運転手派遣などについてご協力いただく協定を結びました。この協定により、車いす利用者などが、避難所から他の施設などに移動する際に福祉車両を活用でき、より安全に移動ができると期待されます。

締結式では、災害時における車いす利用者の現状などについて意見交換を行い、「交通弱者への手立てが二の次になってしまう現状は全国でもあるので、官民一体となって安心安全な仕組みを作っていきたい」など、三者で話しました。市では引き続き、企業や団体の皆さまとの災害時協定を進めてまいります。



### 3/18 港川小学校卒業式オオゴマダラ放蝶

港川小学校の卒業式終了後に、運動場で大平自治会によるサプライズのオオゴマダラ放蝶イベントが行われ、卒業生154人が1つの大きな円をつくり、先生の掛け声のもと約150匹のオオゴマダラが一斉に放たれました。

イベントに参加した卒業生の宇栄原さんは「虫が好きなので放蝶イベント嬉しかった」、井さんは「空が綺麗だった。意外と蝶にも触れた!」、保護者の山本さんは「青空と相まって素敵だった。中学でもぜひ継続してほしい」と嬉しそうなお話を話していました。地域と学校の絆が、卒業生の門出を華やかに彩った一日となりました。



### 3/13 第69号輝くてだこ市民賞

昨年8月に東京都で行われた「2025ジャパンカップ・マーチングバンド・バトントワリング全国大会」のジュニアバトントワリング部門で見事優勝したTida Batonteam Okinawaのメンバーで浦添市在住の高里滯さん(中2)、渡慶次コウナさん(中2)、佐藤れおなさん(中1)の3人に第69号輝くてだこ市民賞が贈られました。

今回優勝したチームは、名護市や中城村など他市のメンバーを合わせた9人で、宮里梨沙コーチは「メンバー全員が揃って練習することが大変だったが、その中で練習に励み、本番では揃った演技ができた」、3人も「練習で大変なこともあったが、本番は皆で楽しく悔いのない演技ができた。これからも練習を頑張りたい」と笑顔で話しました。

話題がいっぱい  
**なかつくい**  
"Let's take a short break"

市内各地で行われたイベントや、まちの話題をお届けします。ここで「なかつくい」しませんか。

なかつくい「なかつくい」の話題を市ホームページ「うらそえトピックス」にも市内のできごとを紹介しています。



### 2/12 第68号輝くてだこ市民賞

スポーツ・文化その他の分野で活躍し、顕著な成績を収めた方々に贈る輝くてだこ市民賞。

昨年、ボーイズリーグ日本代表チームの選手として選抜され、米カリフォルニア州アラメダで開催された世界少年野球大会で優勝を果たすと同時に、投手としても活躍した浦添ボーイズの沢田恩志さん(15歳)に第68号が贈られました。

恩志さんは「両親や支えてくれている人にも感謝を忘れず、この賞を励みに、高校に入学しても甲子園を目指し、プロ野球選手になって頑張りたい」と話しました。恩志さんのこれからの活躍に期待します。